平成 21 年２月 16 日

各　位

会　社　名　株式会社ナルミヤ・インターナショナル
代表者名　代表取締役執行役員社長　　岩　本　一　仁
（ コード番号： 3364）
問合せ先　取締役執行役員常務 管理本部長 上　田　千　秋
（ TEL. 03-6439-3500）

平成 21 年１月期 通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年１月期（平成 20 年２月１日～平成 21 年１月 31 日）の業績予想について、平成 20 年９月 10 日付、当社「平成 21 年１月期中間（個別）業績予想及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしておりました、通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

１．平成 21 年１月期通期（平成 20 年２月１日～平成 21 年１月 31 日）業績予想の修正

（１）個別

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想（A）	20,700	△200	△130	△330
今回修正（B）	20,226	△617	△545	△1,320
増減額（B－A）	△474	△417	△415	△990
増 減 率（%）	△2.3%	－	－	－

（２）連結

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想（A）	20,900	△195	△125	△328
今回修正（B）	20,325	△643	△570	△1,363
増減額（B－A）	△575	△448	△445	△1,035
増 減 率（%）	△2.8%	－	－	－

２．修正理由

（１）平成 21 年 1 月期通期（平成 20 年 2 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日）業績予想の修正理由

（個別）

サブプライムローン問題に端を発した国際的な金融市場の混乱は、当初の想定を遙かに超える規模で拡大いたしました。個人消費は世界規模で縮小し、また、企業の業績も業種を問わず大きく落ち込みました。

我が国におきましても、マスメディアにて連日のように報じられていますとおり、消費マインドの低下は著しく、各百貨店の集客に大きな影響を与えております。百貨店を主体に出店している当社におきましても、特に年末商戦において、客数・客単価の双方共が前年に比べて減少し、苦戦を余儀なくされました。

これらの結果、通期の業績予想は前回発表の予想に対して、売上高は前回予想を 474 百万円下回る 20,226 百万円（前回予想比 2.3%減）、営業利益は 417 百万円下回る△617 百万円、経常利益は 415 百万円下回る△545 百万円、当期純利益は 990 百万円下回る△1,320 百万円となる見込みです。

とりわけ、約 290 百万円の繰延税金資産の取崩しを行ったことや、特別損失として株式会社丸井今井の債権に取立不能のおそれが生じたことによる約 86 百万円及び、来期以降の本社ビル家賃を削減するため予定している引越費用に対する未払費用約 112 百万円などを計上したことの影響により、当期純利益が大きく減少いたしました。

（連結）

当社は、当第４四半期より連結会計制度を取り入れましたが、当社の唯一の連結対象である「株式会社ミリカンパニーリミテッド」は年間売上高が約 6 億円程度の規模であり、また取得日（平成 20 年８月８日）の関係から、当社の平成 21 年 1 月期の決算に連結される、㈱ミリカンパニーリミテッドの決算は、平成 20 年 11 月から平成 21 年１月までの３ヶ月分であるため、通期の連結決算に与える影響はきわめて限定的であります。

よって、連結業績予想を修正する主たる理由は、個別の業績予想が修正されたことによるものであります。

４．ご参考：前期の実績（平成 19 年 2 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経 常 利 益	当期純利益
中　　間	11,426	△338	△280	△218
通　　期	24,486	62	158	6

以上

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は今後の要因によって予想値と異なる場合があります。